

第6回高病原性鳥インフルエンザ対策本部会議 知事冒頭あいさつ  
(令和7年1月22日)

本日、盛岡市の合わせて66万羽を飼養する2箇所の養鶏農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認され、殺処分等の防疫措置を講じることとしました。

年明けから、県内では過去に例を見ないような大規模な事例を含め、防疫措置が3事例続いていましたが、今回さらに2件の大規模な防疫措置事例という、より深刻な事態となりました。

これ以上の発生やまん延の防止を図るため、まずは早期に防疫作業を完了することが重要ですので、県の総力を挙げて取り組んでいきましょう。

各部局においては、年明けからの防疫作業が続いていることに鑑み、職員の健康管理にも留意するよう願います。

国や他県、県内市町村、さらに陸上自衛隊にも派遣要請を行います。特段の御協力をお願いいたします。

特に、今回は過去最大となった前回はさらに上回る規模となるので、県内すべての市町村に協力をお願いします。

県内の養鶏農場の皆様には、これまでも早期通報の徹底をお願いしてきたところですが、空振りの通報もいただいておりますが、空振りはむしろ褒められるべきことですので、これからも必要に応じて躊躇なく通報いただくことが大切です。盛岡地域において、緊急的な消毒を実施したところではありますが、何度点検をしても、それで十分ということはないと考えていただき、飼養衛生管理のさらなる徹底をお願いします。

各種連携協定に基づく関係団体や企業の皆様には、重ねての対応をお願いすることとなりますが、これまでにない規模の防疫措置に迅速に対応するため、さらに御協力をお願いいたします。